

令和3年度 幌加内町まちづくりふるさと応援寄附金

事業名	主な内容	金額
町長が町の振興に必要と認める事業 (町長におまかせ)	町有賃貸住宅購入事業(民間ノウハウを生かして建設した住宅を購入)・介護人材確保支援事業(町内介護施設の人材不足支援)・三頭山登山道整備事業・冬季生活除雪支援事業(除雪機等の購入支援)ほか	24,628,000 円
イトウの保護に関する事業	全額基金へ積立(イトウの産卵床調査及び増養殖事業、産卵河川の再生事業)	11,346,000 円
子育て支援及び子どもの教育振興に関する事業	各保育所運営事業・保育人材確保支援事業(町内保育所の人材不足支援)・乳幼児等医療費助成事業・学童保育所運営支援事業・高校生下宿等補助事業・スキー学習リフト料支援事業・子ども芸術劇場開催事業ほか	15,035,345 円
そば振興に関する事業	全額基金へ積立(農産加工総合研究センター建設事業)	11,921,000 円
朱鞠内湖周辺の観光振興に関する事業	湖畔第2、3キャンプ場トイレ改修事業・一部基金へ積立(朱鞠内湖畔周辺観光施設改修事業)	3,298,000 円
	合 計	66,228,345 円

※町長が町の振興に必要と認める事業

本町では、近年民間賃貸住宅建設に対する支援を行い、多様な町民ニーズに対応しております。町発注の公営住宅建設では、入居制限が多く、かつ、制度上、建設コストも民間賃貸住宅と比較し、高額になってしまう事から民間ノウハウを生かし低コスト建設した住宅を購入し、準公営住宅として維持管理することで、入居基準の自由度を高め、多様化する入居者に対応した住宅事業に充てさせていただきました。

その他、介護施設の人材不足支援、町内外の登山愛好家から親しまれている北海道百名山の三頭山(さんとうざん)登山道の笹刈り整備、豪雪地帯に住んでいる町民の必須アイテム除雪機等の購入支援事業に充てさせていただきました。

※イトウの保護に関する事業

イトウを保護し増殖させるため、現在のイトウの産卵環境や生息状況を朱鞠内湖に注ぐ流入河川ごとに詳細に調査する必要があります。産卵床調査については、長期間(2017年～10年程度)に渡り、専門家の調査費が必要になります。平成29年度から本格始動し、昨年に引き続き、産卵床調査は実施しましたが、令和2・3年度と新型コロナウイルスの影響による釣り客の増加があり、調査費用が遊漁料で賄う事ができたため、ふるさと納税を全額を基金に積み立て、後年度の調査費用及びイトウやイトウの餌となるワカサギ等の小型魚の増養殖、産卵河川の再生などに充てることとさせていただきました。

※そば振興に関する事業

令和2・3年度は、新型コロナウイルス感染症拡大により、外出自粛や飲食店の時短営業などの影響を受け、そばの需要が激減し、関係事業者やそば農家が苦境に立たされておりますが、将来を見据えそば加工場を拡大することに方向転換し、国内産そばの安定的な供給が可能となるよう、全額を基金に積み立てさせていただきました。

加工場の拡大は、令和4年度中に計画着手したいと考えています。

※朱鞠内湖周辺の観光振興に関する事業

これまで懸案でありました、湖畔第2、第3キャンプ場トイレの洋式化改修などを行い、利用者の環境改善を図らせていただきました。残額を次年度以降の改善事業に充てさせていただくため、基金に積み立てさせていただきました。